

台原さわやかサロン

台原地区社会福祉協議会



平成27年9月14日

今回のさわやかサロンは…？

台原さわやかサロンは台原地区社協が老人クラブ明寿会と一緒に開いているサロンです。月曜から金曜まで様々なメニューで開催しています。一番人気があるのはカラオケで12人ほど集まるそうです。



かわいい猫ちゃん…！
カラフルで目を惹きます♪

麻雀の日は男性の方の参加も多いと聞きました。

今回は手芸の日で、この日は10時から15時まで開かれ、7名の方が来ていました。洗濯バサミを中に入れクリップとして使うことができる猫(左図写真)や、靴下を使って作るサルぬいぐるみなどを作っていました。簡単な製作キットを使うこともありますが、みんなで相談し知恵を出し合い、あるものを使って作れるものを考えています。今迄にはペットボトルのふたを使ったブローチやお手玉を作ったこともあるそうです。

参加してみて

参加者の皆さんは、お弁当を持参していて、日中を好きな手芸と仲間のおしゃべりでゆったりと過ごしているようでした。「手芸は指先を使うから脳トレにもなるのよ。」という声が聞かれ、自分のペースで好きなことをしながら介護予防にもつながっているようでした。また、みなさんと顔を合わせ、話ができることで安心感も生まれていると思いました。参加者は80代の方々でしたが手芸というとても手先の細かい作業を、世間話を交えながら進めていました。私達も体験させていただきましたが、コツがなかなかつかめず、皆さんの熟練の技術に圧倒されました。

さわやかサロンはメニューが日変わりになっていますが、ほぼ毎日参加している方もいるそうです。同じ趣味を持つ人たちが集まることにより、会話がさらに弾み、生活にハリが生まれ、毎日来たいと思えるのだと感じました。参加者の高齢化が進んでいるというお話を聞き、60代の方の参加も増えてほしいと思います。幅広い年齢の方々が参加し、交流できる場として広がってほしいです。

今日は何を作ろう
かしら？



取材・編集

宮城学院女子大学

内海利保 佐々木紅美